（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	きらめきキッズ

公表日　R8年　3月　31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	定員とスペースは適切だが活動によっては工夫が必要	時間、活動内容、指導員の配置等を工夫して個別活動を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	職員の配置数は不足である。児童の状況に応じた配置を心がけているが、急な欠員時の体制が課題	職員の配置数は適切であるが、職員の急な休みで指導員が足りない場合は他事業所からの応援で対応してます。支援は差支えがないようにしていますが、保護者確認の元送迎の協力を頂いてます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	児童が安心して過ごせるよう環境を整えているがさらに分かりやすい表示や配置の工夫が必要	活動によって児童が集中しやすい環境設定を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	清潔を保ち安心して過ごせる環境作りをしている	活動に合わせてマットを活用する等、児童が清潔に心地よく過ごせるように清掃、室内環境を常に意識します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	5	0	必要時に個別対応できる環境作りをしている	日によっては数名の児童の個別の空間が必要になるのでパーテーションで空間を作るなどの工夫をしていきたいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	定期的に振り返りを行い改善に努めている	朝の申し送りで前日の振り返り、今日の活動や支援について話し合ってます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	面談やモニタリングで意見や話を聞き支援に反映できるようにしている	意見箱を設置や保護者からの意見を伺い速やかに対応できるようにしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	会議で意見を共有しているが日常的に意見を出しやすい環境作りも必要	会議に参加出来なかった職員のには時間をみて意見を聞き共有するようにします。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	外部の意見を参考にして改善できる部分は見直すようにしている	第三者による外部評価は行っていない為、保護者からの意見を参考に改善をします。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	研修参加の促し、会議の前に全員で見て専門性向上に努めている	事業所内で勉強会を開催します。 また外部の研修にも積極的に参加していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	4	1	作成、共有はしているが定期的な見直しも必要	今後も質を保護者が満足いくプログラムを作成します。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	定期に評価を行い計画に反映している	保護者と情報共有しのニーズの変更があったり場合には計画書を柔軟に見直していきます。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員間で共有し児童の最善を考えている	定期的に評価をしスモールステップで成功体験ができる支援計画の作成します。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画に沿った支援を実施できるよう共有を意識している	今後もケース会議で情報共有したうえで個別支援計画の作成を実施していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	日々の記録をもとに児童や一日の流れを確認している	皆様のご協力に感謝いたします。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	ガイドラインに沿った支援を行うよう努めているがより具体的な目標設定を築いていく	児童発達支援ガイドラインの支援内容と計画に基づいてサービスの提供をしていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	チームで立案しているが全員参加の機会をもっと増やしたい	児童の特性や発達段階に合わせ、 工夫した活動内容を充実させていきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1	活動内容を工夫しているがマンネリなプログラムにならないよう工夫を継続したい	プログラムの曜日が固定にならないようにしていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	個別集団活動と組み合わせているが個別性の充実が課題	集団活動と個別活動がバランス良く出来る様に工夫していきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	情報共有の徹底が必要	出勤時差があり朝礼に参加できない職員は申し送りノートやその日のリーダーが役割を伝えるようにしてます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	5	0	振り返りの話し合いと記録の活用をさらに充実させたい	終礼に参加できなかった職員には申し送りノートで共有してます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々記録しているが検証、改善を十分に活かしていきたい	課題がある時は話し合い支援方法を見直してく必要があります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的なモニタリングと見直しの向上を行っていく	保護者、関係機関と常に情報共有を行い 児童の成長、変化があった場合には柔軟に支援の見直しを行います。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議への参加は行っているが、関係機関との連携を深めていきたい	児童発達管理責任者もしくは児発官研修が参加してます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1	医療、教育機関との連携がさらに必要	積極的情報交換会に参加していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	インクルージョンの意識はしているが、園や学校との強化が必要	保護者理解のもと利用児の次年度予定の保育園、幼稚園へ積極的に交流を行い情報共有を行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	就学移行時に情報共有をする機会を設けているが引継ぎ資料の充実をしていきたい	移行先の小学校へ積極的に支援の情報交換をしていけるようにします。
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	3	2	現在、助言等を受ける機会は設けているが今後必要に応じて検討していきたい	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	園や地域との交流機会はあるが回数を増やしていきたい	地域の公園や児童館などにも積極的に行き利用児童が安心できるように支援していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	日々、情報共有しているが記録としての残し方や書き方を工夫したい	定期的に保護者面談を行い現在の状況、 課題の確認を行っていきます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	家族支援(個別)は行っているが参加しやすいよう工夫していく	現時点ではペアレントトレーニングという形ではありませんが、必要に応じて適切な支援が出来る様にしていきます。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	丁寧な説明を心がけてフォローを行っていく	契約時に説明してますが、定期的な説明と保護者から不明な点があった時には対応します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	4	1	意向を尊重するよう心掛けているが児童や家族の意向を確認する機会が課題	定期的なアセスメントを行い保護者と支援の優先順位の確認共有していきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	計画説明と同意取得を行っているが説明時間の確保が課題	今後も丁寧な説明を行います。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	相談対応しているが定期的な面談機会の充実を図りたい	定期的にお茶会や面談は継続し、 いつでも相談できる環境を整えていきたいと思います
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	ティーパーティを開催し保護者が交流できる機会を設け定期的に保護者会を開催している	親の交流会は積極的に行ってますが、 兄弟児の交流をメインとした交流会の開催を検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談体制は整えるよう努力しているが周知方法の見直しが必要	いつでも保護者が相談がしやすい環境を整備します。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	情報発信を行っているが、SNS等活用の工夫をしていく	今後もプログラム作成、 活動内容の発信を継続していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報管理は慎重に行っているが定期的な確認体制を整えていく	鍵付きキャビネット以外にもPCなど機器類のパスワード設定にも工夫します。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	1	配慮を行っているがよりわかりやすい情報伝達方法を工夫したい	児童の特性に応じたツールをさらに開拓していきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	地域に開かれた運営を意識しているが具体的な取り組みを増やしていきたい	秋祭りやイベントを開催できるように検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	マニュアル整備と訓練は行っているが訓練内容の向上が必要	職員間で実施しているので訓練等を保護者へ周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	BCPを策定しているが、実践的な訓練の充実をしていきたい	今後も定期的に避難訓練を行います。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	事前確認を行っているが情報更新を徹底したい	児童の健康状態は常に保護者と共有してます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者とのコミュニケーションを密にして全スタッフへの周知を強化していく	アレルギーのある利用児がいれば厨房と連携を取ってます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	安全管理に努めているが継続的な研修や訓練を意識していく	安全計画の作成をを行っていきます。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	5	0	安全計画に基づき周知しているが家族との情報共有をさらに強化していきたい	ヒヤリハット後の取り組み内容までは報告してないので今後は取り組みます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリハットの共有はしているがその後の振り返り対策を行っていく必要がある	職員全員がいつでも振り返り確認しやすくする為に他場所を決めてます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を実施しているが定期的な振り返りの機会を増やしたい	どのような行動が虐待に繋がる恐れがあるのか定期的に話し合っています。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	やむを得ない場合の対応について説明はしている、対応基準の確認を継続していく	どのような場合に行うのか説明を再度確認してもらってます。